

【基本理念】 自然に触れ 自然に学び 自然で鍛える

URL <http://www.saitama-city.ed.jp/05gakko/sizennoie/tateiwa/index.html>

令和4年度第2号(6・7月)

さいたま市立館岩少年自然の家

TEL 0241-78-2311

FAX 0241-78-2313

山開きの便りが聞こえる頃となりました。7月までに47校の子どもたちが自然の教室を実施しました。青々と生い茂る木々や草花の中、子どもたちの元気な声が響いていました。実施を終えた学校の様子を紹介します。自然の教室がどの学校においても充実した3日間になるように、所員一同努力して参ります。

○「活動コーナー」

たかつえ	南郷
<p>★仲町小学校「グレンデトレッキング」</p>  <p>頂上を目指して頑張って歩く子、仲間を励ましている子や危険なところがあると周りに教えている子が見られました。</p>	<p>★大谷場小学校「キャンプファイヤー」</p>  <p>子どもたちは火の大切さを学び、自分たちが計画を立てた活動を通して、仲間との絆を深めました。</p>
<p>★栄和小学校「コースター作り」</p>  <p>子どもたちは自分で切った木材の堅さや質の違いに気付き、自然の素材を活かして作品を作りました。</p>	<p>★谷田小学校「ぶんぶんゴマ」</p>  <p>子どもたちは木材の厚みや開ける穴の位置をよく考え、最後まで懸命に取り組み、充実した表情をしていました。</p>
<p>★与野西北小学校「紙すき」</p>  <p>森林保護について考え、楽しみながら紙すきを行い、自分だけの紙ができた、とても満足な様子でした。</p>	<p>★与野八幡小学校「宮床湿原散策」</p>  <p>自然豊かな湿原で、声を掛け合いながら安全に気を付けて散策し、素晴らしい景色を楽しみました。</p>

○「さいたま市教育委員会細田教育長の自然の教室(たかつえ・南郷)視察」

6月27日(月)に、細田眞由美教育長が自然の教室を視察しました。たかつえでは、与野西北小学校の退所式、美園小学校の入所式、大谷口小学校の川魚さばきの様子を、南郷では、向小学校の川魚さばきや焼き板の様子を視察しました。「この3日間で経験した全ての活動がみなさんの力になり、最高の思い出になります。」と子どもたちに話していました。



美園小学校 入所式の様子



大谷口小学校 川魚さばきの様子

○「活動プログラム紹介②～焼き板～」

※たかつえ・南郷どちらでも実施できるプログラムです

「焼き板」は「焼杉」とも言われ、杉の板の表面を焼いて炭化させ、耐久性を高めた木材のことです。子どもたちは杉の板を勢いよく燃やすために、工夫を凝らして薪を組みます。焼きあがった板の表面を磨くと、美しい木目が現れます。磨いた板に自分なりのペイントを施し、世界で1つだけの作品を完成させます。

この活動のねらいは、杉の板を焼いた模様から、自然の美しさを知り、大自然の中で作品をつくる楽しさを味わうことです。



薪に火をつけて板を焼きます。
沼影小学校



ブラシで板の表面を磨きます。
指扇北小学校



板に文字や絵をかきます。
日進小学校

○「南郷スキー場のヒメサユリとニッコウキスゲの群生」

南郷スキー場では、ヒメサユリとニッコウキスゲが群生しています。ピンク色の可憐な花のヒメサユリは、福島・新潟・山形の県境の一部にしか見られない貴重な植物です。横向きに咲き、甘く濃厚な香りの花です。一方、黄色い絨毯のように咲くニッコウキスゲは、朝咲いて夕方にはしぼんでしまう「一日花」です。1つの株に7つほど蕾をつけて、1日に1つずつ開花していきます。南郷スキー場では、鹿や猪の食害や踏み荒らしの被害から花を守るために、電気柵を設置しています。子どもたちは、トレッキング中にこの群生を見て、「わぁ、きれい!」と、歓声を上げていました。



ヒメサユリ



ニッコウキスゲ

○「自然探訪～6月・7月～」

南会津では、5月中旬頃からセミの鳴き声が聞こえます。たかつえや南郷に到着したばかりの子どもたちは、「もうセミがいるの?」と不思議に思います。この時期に鳴くセミは、「エゾハルゼミ」です。エゾハルゼミは寒冷地に生息し、落葉広葉樹のブナやクヌギなどの樹液を好みます。



エゾハルゼミ

夜になるとカエルたちの動きが活発になります。南会津には、「モリアオガエル」が生息しています。モリアオガエルはニホンアマガエルより大型で、水上に張り出した木の枝などによじ登って卵塊をつくります。この卵塊には、ふ化直後の幼生に餌を供給し、温度上昇を軽減する役割があるとされています。



モリアオガエル



モリアオガエルの卵塊